

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援・放課後等デイサービス）

○事業所名	リハ・リハキッズPowersⅡ		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 15日 ~ 2025年 10月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 9月 15日 ~ 2025年 10月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 1日		

○ 分析結果

事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること		工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用時は毎回いろんな体験や遊び（療育）をしながらリハビリを取り入れている ・季節にちなんだイベント体験、お友だちや大人との関わりを大切にしている	・個々の健康状態を確認しながら、その場で変更や追加したりしながら療育にリハビリを組み込む ・個々の引き出せる動きに合わせた小物や環境を用いていろんな事に参加できるようにする	・他職種でも対応できるように実際に参加することで身につけていけるようにする ・利用児が行いやすい方法をスタッフで共有し、統一した関わりが出来るようにする
2	・他職種が教え合い、スタッフの知識を高めている ・個人支援プログラムの充実	・他職種に興味をもち、積極的に「やってみよう」の取り組みを声かけしながら助け合う	・疑問に思ったことや質問をその場で聞ける環境作り ・マンネリにならないようにする
3	・スタッフ間が何でも言い合える関係性	・日頃の会話を大切にしコミュニケーションを高める	1対1での上長との話をまめにしたり、スタッフ間で話をまとめてくれたものを上長に言える事で誰でも言いやすくなる環境づくり

事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること		事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者様や関係機関との連携	・保護者会の開催とその内容 ・関係機関との連絡が先延ばしになる	・保護者会に参加しやすい内容を考える ・関係機関との連絡段取りを考え直す
2	・リハビリに特化しきれていない	・対応できるスタッフが少なく一人一人に関われる時間が少ない	・時間配分と療育内容の中にしっかりリハビリが落とせるようにする
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）								
事業所名	リハ・リハキッズ Powers II		公表日	2025年 12月 22日				
			利用児童数	2			回収数	2
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2					スペースを広くとれるように整理整頓や通路に物が広がらないようにする
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					利用人数に対して目が届くように配置
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					室内に区切りがないのでつい立などでプライバシー保護をしたりして補っています
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					子どもたちが分かりやすいように場所を固定し、活動がしやすいように常に考えて配置をしています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					療育とリハビリ、看護師が団結し個々の支援に臨む
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					プログラムに沿い計画書を作成
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					面談時にきちんと話をきいて作成
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					日々のプログラムをきちんと考へる
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					1週間ごとに各職種の療育内容がある
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			1	1	おじいちゃんおばあちゃんとの交流があるで満足しています	近隣の事業所にて交流を深めていく機会をもっていきたい
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					わかりやすく説明を心がける
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					わかりやすく説明を心がける
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2					送迎時やライン、電話にてお話をし情報共有をしています
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2					送迎時やライン、電話にてお話をし情報共有をしています
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					面談は児発管、日頃の助言は全スタッフでまめに行っています
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					日頃の様子などを随時動画や写真で送っています
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1	1	送迎時に下の子にも気にかけてくださるので特に不満はなく、ありがたく思っています	きょうだい同士の機会を今後出来るように検討中
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					共有をしっかりとしています

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2				話の内容が流れてしまわないよに共有
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2				毎月のおたよりを発信
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2				十分に留意しています
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2				訓練等行ったことはおたよりにて発信
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2				年2回実施
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2				面談時に話をしています
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2				発生時点ですぐに対応しております
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	2				安心してもらえるように心がけています
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	2				楽しいと思ってもらえるプログラムを作成しています
	29 事業所の支援に満足していますか。	2				ご家族様も楽しんでもらえるような内容を心がけています

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		リハ・リハキッズ PowersⅡ					公表日	2025年 12月 22日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	3	物の配置工夫によりスペースの確保を行っている	医療的ケア児とリハビリの場所などが混ざらないようにする		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	4	時間配分と流れをしっかり共有する	従業員の休みの日の配置に抜けがないようにする		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	4	物の位置を定める	場所の把握が出来るように言葉にする		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	整理整頓、掃除をまめに行う。集団行動がとりやすいようにその日の活動に合わせて配置する	個々が快適と思えるようにしていく		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	8	トイレや排泄ケア、更衣等はプライバシーに配慮したスペースで行えている	体調不良や集中できる環境が必要な場合などに使用できる個室が必要		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	2	日々の言葉を共有し勉強していく	振り返った後の行動を起こすことと、維持していくことが継続できるようにする		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	集計後、スタッフ間共有し内容分析する時間を設ける	実行に移せるものは行動し、検討するものはきちんとミーティングを行い実践できるようにする		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	日々意見がでたことはやってみる	やってみて疑問が起きたらその都度改善できるように時間を作る必要がある		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3	外からの意見を聞けるようにしている	第三者からの評価を受ける回数が少ないので今後の動きを検討		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	毎月他職種研修がある	参加できる環境が整っていない		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	きちんと期限までに公表	内容や文章をしっかりと見直す		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0	面談時に聞き取りをきちんと行っている	入院や長期の休み明け時に再度行うように徹底していく		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	定期的にカンファレンスを行い、従業員間で意見交換や必要な時は計画の見直しを行っている	全スタッフが揃って検討が出来ないので時間がかかる		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	日々の業務日誌で確認ができる	その日の体調によって臨機応変に出来るようしていく		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	3	確認が難しいが努力していく	ツールを用いたフォーマルなアセスメントはないので検討		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	今必要とされている事、学んでいってほしい事の明確化を表記してもらうようにしている	たくさんの中を取り込まないようにしていく		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	案は週ごとに他職種別に考えてもらう	限られたスタッフのみで行っているので改善が必要		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	案は週ごとに他職種別に考えてもらう	案が出ない時は声かけでヒントを出していき相互の勉強となるようにする		

	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	原案の時点で話し合いをし、適切な支援が出来るようになっている	支援の内容がたくさんにならないようにする
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	1	送迎前に流れは全スタッフに伝える	打ち合わせが抜けることがあるので習慣化する必要があり
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	8	時間がある時は振り返りを行えている	送迎により時間がとれずできない日もあるので、気付いた時に書き留める
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	1	支援に関しての記録はとれている	検証・改善につながるように流れを作る必要あり
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	面談時に必ずモニタリングをおこなう	見直しの判断がきちんとできるようにする
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	1	子どもに直接関わっている職員が参画できるようにしている	職員との日程が合わない時のフォローを検討
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1	日々連携がとりやすいような関係性を築いている	日々の関係をもっと密にし話しやすい県境設定にしていきたい
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1	見学に伺い情報共有を行っている	相互理解で支援できるようにもっと踏み込んでいけたらと思う
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	2	しっかりとお話が出来るようにしている	情報共有や相互理解がスムーズに進めれるよう時間を作つくる
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	5	地域との連携はとれている	スーパーバイズや機会がない
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	9	近くに保育園等がなく交流が難しい	近所に対象の施設がなく交流が少ない。児童館も遠いため計画や調整が必要
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	送迎時に保護者様と話しています	保護者様の意見をしっかりと耳を傾ける
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	6	情報提供はラインなどを使用して発信している	保護者様の小さな意見を逃さないようにしていくことが課題
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	説明を先延ばしにしない	説明をするときは分かりやすいように説明できるようにしている
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	送迎時やラインを通じて機会を設けている	聞き取りの偏りがないように心がける
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0	送迎時や事前にラインにて発信し、随時修正	同意がきちんと得られるように説明と修正部分はしっかりと訂正していく
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	相談をいただいた時点で職員と話し合う	時間がかかるないように適切な対応がとれるようにしていく

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	8	きょうだい同士の交流に向けて話し合い中	きょうだい同士の交流の日程がうまくいかない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	速やかに対応はしています	周知抜けがないようにする
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	1	個別で活動内容や様子を動画や写真にて共有している	偏りがないように発信する
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	情報の取り扱いには細心の注意を払う	発信する際は確認をしっかり行う
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	誤配信をしない	ラインを使用して伝達
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	7	隣接した高齢者施設の利用者の方との交流を深めている	地域に知っていただくためにSNS発信を検討中
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	定期的に実施し、おたより等で保護者様にも発信している	予定をきちんと組んで事前に発信していく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	定期的に実施し、おたより等で保護者様にも発信している	定期的に訓練と見直しをしていく
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11	0	看護師を通して保護者様と連携	全スタッフに周知し、理解力を高める
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	3	個々に聞き取り対応は出来ている	指示書はないので今後検討
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	外出の際の研修、実際の訓練をしています	日々の環境をチェックし、安全に支援が行えるようにしていく
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0	面談時に保護者様に説明周知しています	実際に取り組んだ内容をご家族様へ周知できるようにする
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	毎月の事業所内ミーティングにて話し合いをしています	小さなヒヤリから見過ごさないようにする
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	研修に参加できなかつた方には後日説明をしっかりとする	職員からの意見をしっかりと聞き防止できる体制を作る
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0	やむを得ずおこなう場合には事前に許可を得るようにしています	計画書への記載がない

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）								
事業所名		公表日 2025年 12月 22日						
		利用児童数			回収数			
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	1		3	引越し後の事業所を見ていないためわからない	スペースを広くとれるように整理整頓や通路に物が広がらないようにする
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4			3	引越し後の事業所を見ていないためわからない	各職種が欠員にならないように職員のお休みの日は応援をいただき人数不足にならないようにしております
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4			3	引越し後の事業所を見ていないためわからない	室内に区切りがないのでつい立などでプライバシー保護をしたりして補っています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3	1		2	引越し後の事業所を見ていないためわからない	子どもたちが分かりやすいように場所を固定し、活動がしやすいように常に考えて配置をしています
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					療育とリハビリ、看護師が団結し個々の支援に臨む
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					プログラムに沿い計画書を作成
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					面談時にきちんと話をきいて作成
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	7					面談時にきちんと話をきいて作成
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					日々のプログラムをきちんと考える
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7					1週間ごとに各職種の療育内容がある
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2			5		近くに児童館等がないため、地域の子供たちと交流する機会がありませんが、他事業所との合同交流は始めたところです
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					わかりやすく説明を心がける
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					わかりやすく説明を心がける
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7					送迎時やライン、電話にてお話をし情報共有をしています
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7					送迎時やライン、電話にてお話をし情報共有をしています
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					面談は児発管、日頃の助言は全スタッフでまめに行っています
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					日頃の様子などを随時動画や写真で送っています
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3			4	兄弟等の交流を保護者が知らないだけかと	保護者会は開催しておりますが、きょうだい同士の交流は現在できておりません。今後取り組めるように検討していきます
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7					共有をしっかりとしています

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思われますか。	7				いつもスタッフの皆さんで情報共有して下さり助かっています	話の内容が流れてしまわないように共有
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	1			月間行事予定や日々の活動を発信してくださるので、どんな感じで過ごしているのか把握でき安心感につながっています	毎月のおたよりを発信
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					十分に留意しています
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			1		毎月のおたよりにて研修内容等をお知らせしております
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			1		毎月のおたよりにて研修内容等をお知らせしております
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7					面談時に話をしています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7					発生時点ですぐに対応しております
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	7					安心してもらえるように心がけています
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7					楽しいと思ってもらえるプログラムを作成しています
	29	事業所の支援に満足していますか。	7					ご家族様も楽しんでもらえるような内容を心がけています

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		リハ・リハキッズ PowersⅡ				公表日	2025年 12月 22日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	3	スペースを広くとれるように物を出さないようする	定員が増えると狭くなる		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	4	時間配分と流れをしっかり共有する	従業員の休みの日の配置に抜けがないようにする		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	4	バリアフリー化、情報伝達は出来ている	設備や環境はもう少し子供たちにあわせる工夫が必要		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	整理整頓、掃除をまめに行う。集団行動がとりやすいようにその日の活動に合わせて配置する	個々が快適と思えるようにしていく		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	9	トイレや排泄ケア、更衣等はプライバシーに配慮したスペースで行えている	個別に行える部屋が欲しい		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	2	出来る限り参加はするようにスタッフは心がけてくれている	振り返った後の行動を起こすことと、維持していくことが継続できるようにする		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	集計後、スタッフ間共有し内容分析する時間を設ける	改善につながるように話し合いをスタッフ間に設ける		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	意見を伝えやすいように個別で聞き取りをする	・全員で集まる時間を少しでも作る ・つながる部分とつながっていない部分あり		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	4	出来ている時と出来ていない時あり	外部評価が出来るように努力中		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	職種別による研修も多彩	職種が違っても研修等に参加でき勉強できる		
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	出来ている	内容の確認をスタッフ間で行い公表		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0	出来ている	疑問点はその都度児発管に話をする		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	話し合いを行い決めていく	時間を作り話し合いの場を設ける		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	日々の業務日誌で確認ができる	出来るようにきちんと共有		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	3	確認が難しいが努力していく	ツールを作成していくか検討		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	計画はきちんと出来ている	具体支援が難しいのと特に地域支援や連携を計画立てて行っていく		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	チームは出来ていない	限られたスタッフのみで行っているので改善が必要		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	週案プログラムをたてる	繰り返し行う事も必要		

供 託	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	毎日、日々の変化に気をつけて工夫	スタッフ間で話し合い組み合せている
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	2	時間がない日は日誌にて共有	今以上にチームの連携を図る
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	7	数分でも話し合う	時間がない時は日誌にて共有
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	毎日の記録はある	検証・改善につなげるようにスタッフミーティング時に気になる事は話し合う
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	入院や体調不良時には聞き取りや申し送りにて見直す	抜けのないように周囲のフォローを確立
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9	2	個々のプログラムが飽きないように工夫	「対話」「仕事」「遊び」「催し」を上手く組み合せていく
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	0	まずは本人の意思を聞く	何かしらの発信ができるように支援する
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	児発管が参画	参画できるようにその日の配置を考えて優先できるようにする
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1	体制は整えている	連携がすぐにとれるように配置する
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0	行えている	連絡調整ミスのないようにチェック体制と、急なトラブル対応にも臨機応変に対応
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	3	連携をとっている	変化がある時や疑問点があればその都度情報共有
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	2	今後提供を行っていきたいので、情報を整理している	直接情報共有が出来るように連携を保護者様を通して行っていきたい
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	5	地域との連携はとれている	スーパーバイズや機会がない
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	8	他事業所との交流は行っていきたい	児童館や地域の子供たちとの近交流できる活動の場がない
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4	可能な参加している	いろんな会議には参加したいが時間が上手くとれていない
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	送迎時に保護者様と話しています	保護者様の意見をしっかりと耳を傾ける
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	5	ご家族様に情報は常に提供している	ご家族様に情報は常に提供している
・	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	説明を先延ばしにしない	説明をするときは分かりやすいように説明でいるようにしている
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	1	送迎時やラインを通じて機会を設けている	聞き取りの偏りがないように心がける
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0	送迎時や事前にラインにて発信し、随時修正	同意がきちんと得られるように説明と修正部分はしっかりと訂正していく
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	相談をいただいた時点で職員と話し合う	時間がかかるないように適切な対応がとれるようにしていく

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	7	きょうだい同士の交流に向けて話し合い中	きょうだい同士の交流の日程がうまくいかない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	速やかに対応はしています	周知抜けがないようにする
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	1	個別で活動内容や様子を動画や写真にて共有している	偏りがないように発信する
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	情報の取り扱いには細心の注意を払う	発信する際は確認をしっかりと行う
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	誤配信をしない	ラインを使用して伝達
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	9	隣接した高齢者施設の利用者の方との交流を深めている	地域に知つていただくためにSNS発信を検討中
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	定期的に実施し、おたより等で保護者様にも発信している	予定をきちんと組んで事前に発信していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	定期的に実施し、おたより等で保護者様にも発信している	定期的に訓練と見直しをしていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	看護師を通して保護者様と連携	全スタッフに周知し、理解力を高める
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	4	個々に聞き取り対応は出来ている	指示書はないので今後検討
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	外出の際の研修、実際の訓練をしています	日々の環境をチェックし、安全に支援が行えるようにしていく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0	面談時に保護者様に説明周知しています	実際に取り組んだ内容をご家族様へ周知できるようにする
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	毎月の事業所内ミーティングにて話し合いをしています	小さなヒヤリから見過ごさないようにする
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	研修に参加できなかった方には後日説明をしっかりとする	職員からの意見をしっかりと聞き防止できる体制を作る
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	0	やむを得ずおこなう場合には事前に許可を得るようにしています	計画書への記載がない